

沖縄科学技術大学院大学の 平成25年度業務実績について

平成25年度におけるOISTの業務実績について(総論)

- 業務実績報告は、事業計画に基づき、学園が自己評価するもの。
- 本年度より、取組状況に加えて、学園理事会による評価結果の公表を行っている。
- 本検討会において、評価は行わないが、今後の予算要求や事業計画認可等に向けたご議論を頂きたい。

自己評価結果

○全32項目のうち、A評価が31項目、B評価が1項目。

⇒自己評価によると計画通り大学運営が実施されている。

【評価基準】

A+(計画通り実施し、期待以上の成果を上げた。)

A (計画通り実施した。)

B (概ね計画通り実施した。)

C (計画通り実施されなかった。)

D (実施されなかった。)

「B」評価とされた項目

○研究評価の実施(第1章 教育研究に関する事項 1.2研究活動)

【平成25年度OIST事業計画該当部分】

□研究評価については、機構による先行的研究事業において、世界の著名な科学者等からなる外部の評価委員会が、世界的に最も高いレベルの基準に基づく評価を行ってきました。本学においても、その評価手法を引き継ぎ、研究の成果、独自性、今後の可能性やその他の要素について、公平性と透明性の確保を重視した基準により、厳格な評価を実施し、教員の昇進や任用継続の判断等に活用します。(平成25年度に評価を予定する研究ユニット数: 8 ユニット)

□評価結果については、研究事業に投じられた公費について国民に対する説明責任を果たす観点から、その概要について、結果の活用後できるだけ速やかに公表します。

⇒研究評価(評価着手を含む)を行ったのは6ユニットのみ(3ユニット終了、3ユニット進行中)。

予定の研究ユニット数の評価ができなかったため、「B」評価とされた。

平成25年度におけるOISTの業務実績について(各論①)

①学生の募集及び受け入れについて

- 海外学生向けの取組として、イギリス・スコットランド・オーストラリア・米国の大学訪問に加え、リクルートメントフェアへの参加や、国際会議でのブースの設置。
- 国内学生向けの取組として、国内の主要大学訪問に加え、OISTカフェ(注)を東京・大阪・札幌・名古屋・福岡・沖縄などで開催。

(注)理工系学生のための英語研修を兼ねたサイエンスカフェ。英語研修に加え、OISTの研究者や職員がOISTで行われている研究なども紹介。





関連指標		H23年度	H24年度	H25年度
学生数	志願者数	1期 208名	2期 398名	3期 197名(※)
	入学者数	34名 (18の国・地域)	20名 (14の国・地域)	13名(※)
	(うち日本人)	(5名)	(4名)	(4名)(※)

(※)平成26年4月15日現在。

平成25年度におけるOISTの業務実績について(各論②)

②研究活動について

- 海洋科学、化学、数学の分野において、5名の教員の選任を目指した国際的な採用活動を実施。合計317人の出願があり、平成25年度に2名の教員が選任され（応用数学、ナノ流動学）、残りの教員とは現在交渉中。
- 高インパクトファクターの国際的な学術雑誌及び重要な専門雑誌で幅広い分野の論文を発表。
- 沖縄海洋環境観測システム（OCOOS）の核となる、オーシャンキューブを設置。

関連指標		H23年度	H24年度	H25年度
研究ユニット教員数		45名	46名	47名
研究成果	学術論文数	140件 	162件 	176件
	学会発表件数	349件 	468件 	553件

平成25年度におけるOISTの業務実績について(各論③)

③世界的連携、産学連携について

- 東京大学をはじめ、アジア・アフリカ・欧州の大学と新たに連携協定を締結。
- 平成26年度にOIST初の大学ベンチャー企業が事業化する予定。
- 新たな知的財産案件管理システム（Sophia）（注）を導入（国内初）。
（注）技術発掘からライセンス（技術移転）までの全過程を網羅したシステム。
- OISTの機器利用、対価徴収に関する規則・規程を整備。

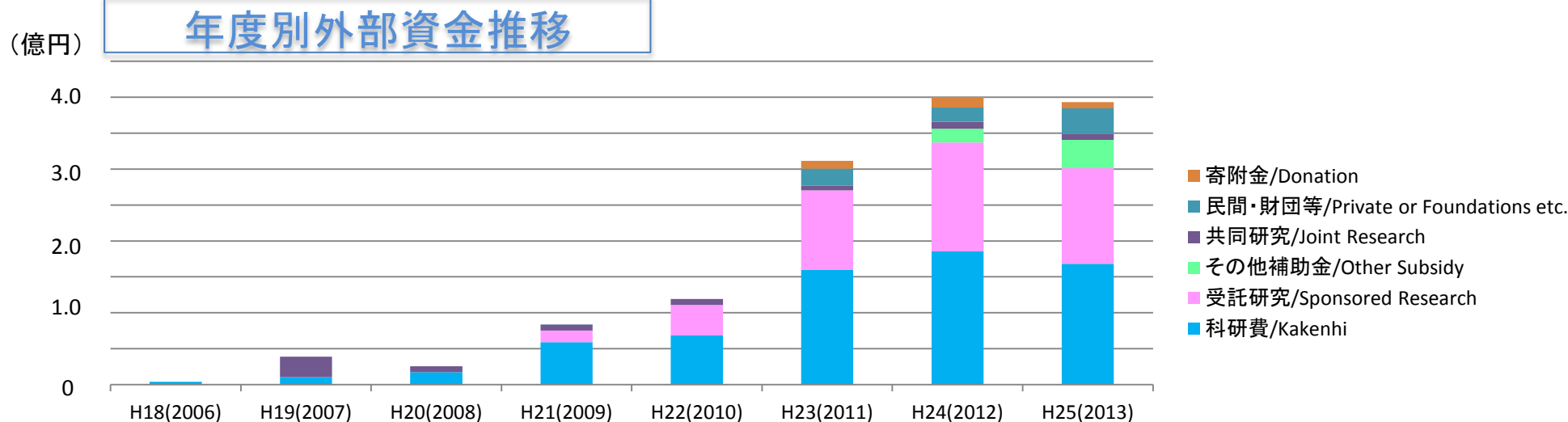
関連指標		H23年度	H24年度	H25年度
世界的連携	学術交流協定	9件	14件	21件
	（うち新規締結）	（6件）	（8件）	（7件）
	国際ワークショップ	開催数:11件 参加者:611名	開催数:10件 参加者:428名	開催数:10件 参加者:506名
産学連携	産業界との連携事業数	4件	16件	19件
	（うち県内企業）	（1件）	（7件）	（8件）
	特許出願件数	1件	18件	13件

平成25年度におけるOISTの業務実績について(各論④)

④外部資金・ガバナンスについて

- 競争的資金の申請件数は大幅に増加。外部資金の獲得総額は減少。
- 「外部資金獲得に係る中期戦略」を策定。
- 男女共同参画タスクフォースが発足。

関連指標		H23年度	H24年度	H25年度
競争的資金	申請件数	89件	97件	123件
	採択状況	18件	26件	29件
	採択率	20.2%	26.8%	26.6%
外部資金獲得状況		3.1億円	4.0億円	3.9億円



平成25年度におけるOISTの業務実績について(各論⑤)

⑤沖縄の人材育成、地域貢献について、その他

■県内学校が対象のキャンパス訪問等を通じて、沖縄の若者・子どもの人材育成に貢献。

(人材育成貢献の取組例)

- ・県内学校を対象としたキャンパス訪問を実施。
- ・OIST教員によるサイエンス・トーク、こども科学教室を開催。
- ・スコア(高校生による起業のための研究プロジェクトの発表)の開催

■地域貢献に資する取組を実施。

(地域貢献の取組例)

- ・琉球大学や名桜大学等と沖縄大学コンソーシアムを設立。
- ・クラシック音楽や伝統音楽・和太鼓などを含む、計6回のコンサートを開催。
- ・沖縄県立美術大学教員による企画展等の美術展を2回開催。

■第3研究棟、CDC(チャイルド・ディベロップメント・センター)の建設を実施

関連指標		H23年度	H24年度	H25年度
キャンパス訪問者数		10,565名	21,475名	39,984名
県内学校訪問 (小・中・高)	校数	14校	32校	49校
	人数	1,868名	4,216名	4,380名